

出版情報

書名・件名	平成3年版 労働経済の分析
編集者・監修者	労働省
発行日	

「平成3年版労働経済の分析」(労働白書)の発表に当たって

我が国経済は、石油危機、円高を克服して発展を続けてきましたが、これには新規学卒者を中心とした若年労働者や昭和50年以降増加を続けてきた女子労働者が大きな役割を果たしてきたと考えられます。しかし、これらの層の職業意識をみると、女子については多様であり、若年層については生活重視の方向への変化がみられます。このような特徴は、女子が職場に進出し、現在の若年労働者が社会、職場の中核となっていくに従って、日本人の働き方、職場と家庭の関係、家庭での過ごし方等勤労観自体をも全体として変化させていくと思われまます。

こうしたなかで、増加する女子労働者、将来の社会を担っていく若年労働者の問題への対応は、勤労者の働きがい、生きがいを実現していく上でも、今後中期的に労働力人口の伸びの鈍化が見込まれるなかで、社会、経済の活力を保っていく上でも重要となってきています。

そこで、今年の労働経済の分析では、平成2年における労働経済の動きを分析するとともに、女子労働者、若年労働者を取り上げ、これら労働者の能力を十分に発揮し快適な職業生活を送ることができるための課題を探りました。

この白書が、女子労働者、若年労働者の現状及び課題について、国民各層の理解を深める一助となれば幸いです。

平成3年7月 小里 貞利 労働大臣
